

1. 私たちの健康のすがた (P. 6~7)

1. わが国における健康水準

(1) 平均寿命ののびと死亡率の低下

健康指標：(**平均寿命**) や (**乳児死亡率**) などの集団の健康状態をはかるものさし

健康水準：健康指標によりはかられた健康の程度のこと

平均寿命・・・1900年代初期 → 低い水準

2015年：男性 (**80.79**) 年

女性 (**87.05**) 年

} 世界最高水準



平均寿命がのびた理由

1、**乳児死亡率の大幅な改善**

2、**高齢者の死亡率の改善**



(2) 健康水準向上の背景

保健・医療サービスの充実 ⇒ 死亡率全体の低下

1：国民の (**栄養状態**) の改善

2：生活環境の (**衛生状態**) の改善

3：(**科学技術**) の発展にともなう保健・医療サービスの高度化



2. わが国における健康問題の変化



(1) 生活習慣病の増加

1900年代半ば：結核などの (**感染症**) による死亡が多く見られた。

現在：がん、心臓病、脳卒中で死亡する人が日本人の死者数全体の約 (**5割**) 以上



これらの病気の発病や進行には、多くの場合、**生活習慣 (食事、運動、喫煙など)** が大きくかかわっている。

(2) 新たな健康問題

社会経済問題を背景に・・・精神的ストレスを強く感じ、(**心の健康問題**) を持つ人の増加

職場における過重労働や倒産、失業などがあげられる。

平均寿命がのび ⇒ 社会全体の (**高齢化**) ⇒ (**介護**) が必要に！！

課題：未成年者や高齢者の (**不慮の事故**) の防止。